

授業科目名: 道徳の理論・指導法(初等)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 神山直子
			担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)	小学校教諭としての勤務経験をもつ教員が、道徳教育・道徳科における理論及び指導計画の作成や学習指導案の作成について指導する		
科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	道徳の理論及び指導法		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
道徳教育の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、効果的な指導の在り方について理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して実践的な指導力を身に付ける。 (1) 道徳教育の理論 1) 道徳教育とは何かを説明することができ、道徳教育の課題を理解している。 2) 子供の心の成長と道徳性の発達について理解している。 3) 学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。 (2) 道徳の指導法 1) 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解している。 2) 道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。 3) 道徳科における教材の特徴を授業設計に活かすことができる。 4) 授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。 5) 道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。 6) 学習指導案の作成や模擬授業の実施・振り返りを通して授業の構想や改善の視点を身に付けている。			
授業の概要			
学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育とその要である道徳科の目標や内容について理解するとともに、道徳科における指導計画や多様な指導法について理解し、教材研究や模擬授業を通して実践的な指導力を身に付けることができるようにする。			
授業計画			
第1回:授業の目標と計画。道徳と道徳性の育成 第2回:道徳教育の歴史と学校教育における道徳教育の課題 第3回:学習指導要領と道徳教育の計画 第4回:道徳性発達の理論と道徳教育 第5回:学校における道徳教育の指導計画と教育活動全体を通じた指導 第6回:道徳科の基本方針と多様な指導方法 第7回:道徳科の指導と評価 第8回:道徳科の資料分析と指導過程 第9回:道徳科の内容構成の視点と重点化、授業設計 第10回:道徳科における問題解決的な学習と体験的な学習 第11回:道徳科の学習指導案の作成(1)-主題の設定、ねらいと発問、学習指導過程- 第12回:道徳科の学習指導案の作成(2)-学習活動と評価、教材の類型と活用- 第13回:模擬授業の実施と授業改善の視点(1)-教材内容の視点から- 第14回:模擬授業の実施と授業改善の視点(2)-授業展開の視点から- 第15回:「考え、議論する道徳」と学級経営 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
当日配布する資料をもとに、道徳教育及び道徳科の意義や学習内容、指導過程や評価について学ぶとともに、教材分析に関するグループワークを通して効果的な授業づくりについて考える。			
テキスト			
文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編』廣済堂あかつき 978-4-908255-35-9 文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)』東洋館出版社東洋館出版社 978-4491034614			
参考書・参考資料等			
文部科学省『「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告)』平成28年 (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/111/houkoku/1375479.htm) 柳沼 良太『道徳の理論と指導法』図書文化 2017年 林 泰成『道徳教育の指導法』左右社 2018年			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			